

# Brev från Sverige Vol.5



## もっと知りたい スウェーデン

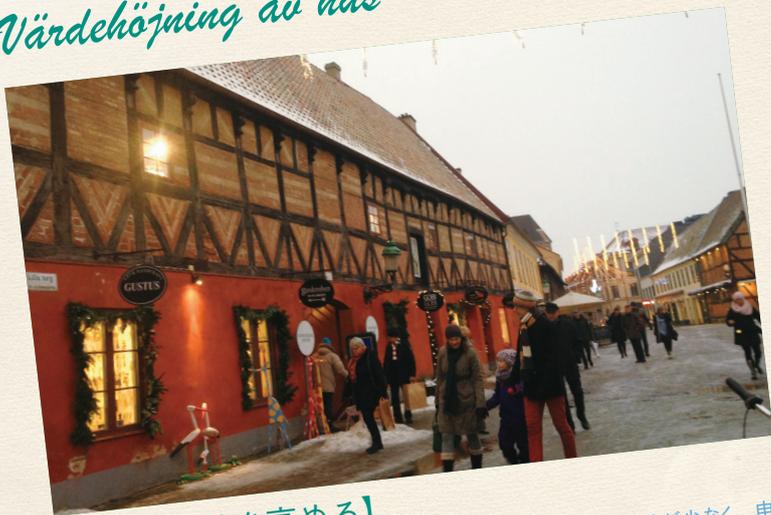
スウェーデンの文化を中心に  
おいしい香りや楽しい雰囲気、人々の温もり、  
旅に役立つさまざまな情報をお届けします。



### 【冬はリノベーションの季節】

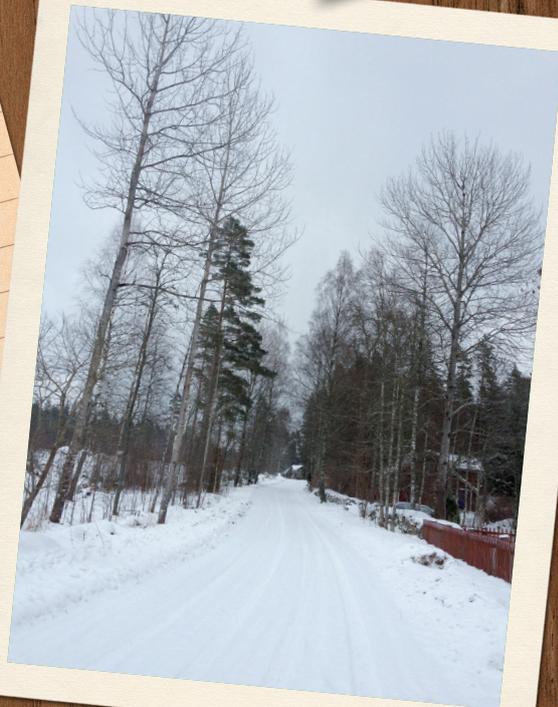
スウェーデンは10月から本格的な冬が始まります。冬場は日照時間が短く、日中でも太陽を見かけることはほとんどありません。空の色はまるで雨の日のように灰色です。そのため読書や映画観賞を楽しんだり、編み物や裁縫をしたり、鯨の酢漬けのような保存食品を作るなど主に室内で過ごします。また、外の景色とは対照的にカーテンやクッションカバーを暖色のものに換え、冬用のラグを敷き、部屋の模様替えを行います。大規模な内装工事そんな冬場に行う事が多く、壁のペンキ塗りや床の張り替え、キッチンのリフォーム、電気の配線に至るまで自分たちで施工します。子ども部屋をゲストルームにしたり、2つの部屋を1つにして広いリビングルームとして活用するなど、ライフスタイルに変化があると、それに応じた最適な間取り、内装をつくり上げていきます。スウェーデンの人たちは自分でものを作る楽しさを知っており、また出来る事はまず自身でやってみようとする人が多く、このような知識や技術は両親の手伝いを通して小さな頃から自然に身につけているのです。

## Värdehöjning av hus



### 【住宅の価値を高める】

スウェーデンの首都ストックホルムの中心部では賃貸マンションの数が少なく、申し込んでから契約に至るまで15～20年もの間待たなければなりません。地方との賃借料に大きな差がないにもかかわらず、都心の土地の値段が高いために、賃貸住宅を建設しても、資金回収が出来ない事が大きな理由です。そのため多くの人は郊外に住むか、都心の場合は20代の若い世代であっても分譲マンションを購入します。購入した家（マンションを含む）は大幅な改装が可能です。賃貸物件であっても壁の色を変えたり、壁に穴をあけて棚を設置する程度であれば、好きなように手を加えて良く、引っ越しをするたびに自分の暮らしに合わせて内装を変えます。住まいにはそれぞれの人生が反映され、また自分にとって快適な空間があってこそ充実した日々を送る事が出来るとスウェーデンの人たちは考えています。歴史を紡いだ家には魅力があり、このようなりノベーションを繰り返して、その物件の価値を一人ひとりのオーナーが高めているのです。



### PROFILE

堀紋子

北欧ジャーナリスト&コーディネーター。  
北欧企業のビジネスサポート、PR等の他、  
スウェーデンハウス・オーナー様専用サイト【God Dag】内でもコラム「北欧ダイアリー」を連載中。